

宿場町の温泉文化継承

下諏訪 リラクゼーション施設オープン

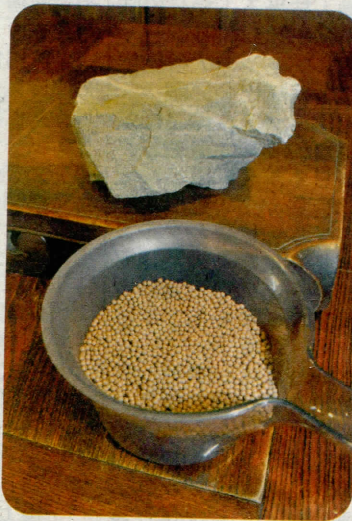
隣接の「旦過の湯」使用したサンドバスなど

江戸時代の中山道の中で唯一、温泉が湧く宿場町として栄えた下諏訪町一。その歴史を伝える旧中山道沿いの同町湯田町に、新しい温泉文化を体感できるリラクゼーション施設「信濃國 下諏訪宿 和みの湯屋 つむぎ」がオープンした。隣接する天然温泉「旦過の湯」の源湯を生かした「サンドバス（砂風呂）」をはじめ、貸し切り露天風呂、和カフェを併設。古来の温泉文化の継承と中山道の歴史的景観の維持保存を目的に、宿場町のにぎわいを呼び戻したい思いを込めた。

（樋口美世子）



天香石と旦過の湯を掛け合わせた新しい温浴法を提供するサンドバス



天香石（奥）を焼き付けた特製セラミックボールを「砂」として利用

運営するアルプスクリエーション合同会社の代表・伊藤英明さん（53）は、2年前に名古屋市の広告会社を早期退職し、妻の実家のある駒ヶ根市に移住。知人の旅館を手伝うなどしていたが、昨年10月、同町でも高温で知られる旦過の湯に足を運んだことが転機となった。

この高温の湯と、会社員時代から興味を持っていた天然鉱石「天香石」による温浴法を掛け合わせるアイデアがひらめいた。昨年末、町や下諏訪商工会議所に事業について相談。仲介で源湯に隣接する旧老舗旅館を借りることができ、古い建物の趣を残しながら改修し、今年7月中旬に開業にこぎつけた。

訪商工会議所に事業について相談。仲介で源湯に隣接する旧老舗旅館を借りることができ、古い建物の趣を残しながら改修し、今年7月中旬に開業にこぎつけた。

コンセプトは「ココロとカラダを整えることで、人はもっと豊かに生きられる」。サンドバスに用いる天香石は九州の高千穂で採取される貴重な鉱石。この鉱石を微細に砕き、直径3・5ミリのセラミックボールに焼き付けたビーズを浴槽に敷き詰めて、独自のサンドバスを実現した。ビーズは1回ごと、旦過の源湯から引いた温泉で温め、入浴時の温度は約50度。サウナや岩盤浴とも異なる「包まれた感覚」を体感できる。県内初の温浴施設という。

施設内には老舗旅館で使われていた岩風呂をそのまま活用した貸し切り露天風呂もある。伊藤さんは「歴史ある温泉文化に光を当て、新しい温浴技術で現代の湯治の湯屋として

る。サンドバスの後、汗を流して休憩してもらおう。和カフェ「つむぎ茶寮」（午前11時～午後5時、不定休、カフェのみ利用可）も併設し、松葉茶をはじめ、地元食材や健康にこだわった菓子プレートなどを提供する。

伊藤さんは「歴史ある温泉文化に光を当て、新しい温浴技術で現代の湯治の湯屋として

訪商工会議所に事業について相談。仲介で源湯に隣接する旧老舗旅館を借りることができ、古い建物の趣を残しながら改修し、今年7月中旬に開業にこぎつけた。

コンセプトは「ココロとカラダを整えることで、人はもっと豊かに生きられる」。サンドバスに用いる天香石は九州の高千穂で採取される貴重な鉱石。この鉱石を微細に砕き、直径3・5ミリのセラミックボールに焼き付けたビーズを浴槽に敷き詰めて、独自のサンドバスを実現した。ビーズは1回ごと、旦過の源湯から引いた温泉で温め、入浴時の温度は約50度。サウナや岩盤浴とも異なる「包まれた感覚」を体感できる。県内初の温浴施設という。

施設内には老舗旅館で使われていた岩風呂をそのまま活用した貸し切り露天風呂もある。伊藤さんは「歴史ある温泉文化に光を当て、新しい温浴技術で現代の湯治の湯屋として

訪商工会議所に事業について相談。仲介で源湯に隣接する旧老舗旅館を借りることができ、古い建物の趣を残しながら改修し、今年7月中旬に開業にこぎつけた。

コンセプトは「ココロとカラダを整えることで、人はもっと豊かに生きられる」。サンドバスに用いる天香石は九州の高千穂で採取される貴重な鉱石。この鉱石を微細に砕き、直径3・5ミリのセラミックボールに焼き付けたビーズを浴槽に敷き詰めて、独自のサンドバスを実現した。ビーズは1回ごと、旦過の源湯から引いた温泉で温め、入浴時の温度は約50度。サウナや岩盤浴とも異なる「包まれた感覚」を体感できる。県内初の温浴施設という。